

飼料用稲を給与して和牛を育てています

(農) 山田営農組合、(農) 原営農組合 (総社市)

総社市の営農組合と新見市の大規模和牛牧場は、約10年前から、耕畜連携に取り組み、総社市産「稲ホールクロップサイレージ (WCS)」を給与し、和牛を育てています。

できるだけ安全・安心な地元産の飼料を給与したいという牧場の経営方針のもと、この取り組みが続いており、一方、営農組合は、水田に飼料用稲を生産することで水田機能を維持しながら直接支払交付金を受け取ることができます。飼料用稲の水田へは牧場の堆肥が還元され、耕畜連携のモデルとなっています。



稲WCS収穫 (総社市)



千屋牛への給与 (新見市)



肥育牧場保管ロール